令和4年度　福島県中学校教育研究会音楽専門部　2023.3

音楽部報第56号

発行責任者　県中学校教育研究会音楽専門部長　湯田　公夫
事　務　局　福島市立福島第三中学校　本田　純也

音楽教育「受難」の時代…だからこそ

福島県中学校教育研究会
音楽専門部長　湯田　公夫

令和２年３月に新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため，全国一斉臨時休業措置がとられてから，文科省の衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」により，音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」は，「感染症対策を講じてもなお感染のリスクが高い学習活動」に位置付けられました。表現活動の中心となる「合唱」や「リコーダー」を奪われ，「どうやって授業を進めればいいの」という音楽科の先生方の悲痛な叫びが聞こえてきました。まさに「音楽教育『受難』の時代」です。

こうした苦しい状況だからこそ，知恵を出し合うことが必要です。「３人寄れば文殊の知恵」という言葉があるように，人が集まれば，打開策が見つかる可能性は格段に高まります。それが中教研の存在意義です。特に，学校でひとりだけの存在であることが多い音楽科教師においては，なおさらです。中教研の場を活用し「生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力」を育成する指導の在り方を共に模索していきましょう。

令和４年度は全会津の先生方の力を結集して，会津若松市立第二中学校を会場に，授業の事前配信やオンラインの活用など工夫を凝らした協議会が開催されました。コロナ禍の中にあって，考え得る最良の在り方を示していただきました。また，細田睦子先生（若松二中）には，副主題の「実感を伴う理解による知識や技能の習得につながる題材構成の工夫」を具現化した素晴らしい授業をご提供いただきました。この紙面を借りて，改めて感謝申し上げます。

また，規制の緩和と先生方のご尽力により，学校内外のコンクール等も，感染症対策を講じながら，概ね再開されてきました。その一方で，音楽関係の部員数が減少し，廃部の危機にある学校が増えていると聞きます。

私は，小学生のとき音楽専科の先生にトランペットを吹くように命じられたことがきっかけとなり，以来半世紀近くもオーケストラに関わり続けています。人生を大きく変える出会いだったと言えるでしょう。

「部活動の地域移行」や「働き方改革」の流れを踏まえつつも,「音楽を愛好する心情を育む」ために「学校音楽の文化」を守ることも，音楽科教師の使命かもしれません。

中教研がそんな先生方の心の支えとなることを願ってやみません。

音楽学習帳　活用のお願い

今年度も県内各地の先生方のご意見をいただき「音楽学習帳」の内容を一層充実させて出版することになりました。編集委員の先生方をはじめ，ご意見をお寄せいただいた皆様に御礼申し上げます。

今年度の改訂では，各学校の実態に応じて使えるよう「鑑賞」や「校内合唱コンクール」,「学習活動の記録」のページを刷新しました。また，生徒がファイルに綴じることを想定して「解答」のレイアウトを変更しました。より使いやすくなった「音楽学習帳」を，ぜひご活用ください。

音楽学習帳編集委員会

事務局	編集委員	
湯田　公夫（平 野 中）	遠藤　小織（県 北 中）	佐藤　祐子（二本松一中）
瀧　　薫（信 陵 中）	齋藤のり子（郡山一中）	関根美恵子（仁井田中）
本田　純也（福島三中）	伊藤　千佳（三 春 中）	坂本　榛香（表 郷 中）
鈴木　祥子（飯 野 中）	高橋小百合（若松四中）	花泉　恵里（塩 川 中）
鈴木香世子（渡 利 中）	増田　彩花（高 田 中）	山口　晃子（下 郷 中）
	星　えりか（中村二中）	本柳　沙織（内郷一中）

令和５年度以降の
研究推進計画
県中教研音楽部会研究推進委員会

１　研究主題

音楽的な見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の音や音楽，音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する指導はどうすればよいか

２　令和４年度の研究の成果と課題

「実感を伴う理解による知識や技能の習得につながる題材構成の工夫」を副主題として，コロナ禍の状況の中，各支部とも研究内容を明確に捉え，生徒や学校の実態に応じたより具体的な手だてを講じ実践された研究が数多く見られた。以下は，その成果と課題である。

○ ＩＣＴを活用した取組

タブレットを使用し，互いの考えをグループや全体でモニターを通して共有したり，タブレットのカメラ機能を用いて，活動の様子を録画して確認したりして学習効果をあげた実践報告が多くなされた。

○ 題材構成の工夫

県大会での細田睦子教諭（若松二中）の授業のように，題材構成の工夫により，表現（歌唱，器楽、創作）と鑑賞の活動を効果的に組み合わせて，生徒の資質・能力を着実に育んだ実践が報告された。

● 題材構成の工夫の実践と研究

題材ごとに生徒に育みたい資質・能力を明確にし，指導事項と〔共通事項〕を指導内容や教材に関連付けていく必要がある。

３　年度ごとの研究副主題

○　令和４年度　副主題（第１年次）
実感を伴う理解による知識や技能の習得につながる題材構成の工夫

○　令和５年度副主題（第２年次）
音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習指導の工夫

○　令和６年度　副主題（第３年次）
音楽に対する感性を豊かにする指導と評価の工夫

４　令和５年度の研究副主題について

【指導にあたって】

表現・鑑賞を深めるには…

・他者と協働して音楽表現を生み出す学習の充実
・音楽を聴いて，よさや価値等を考える学習の充実

さらに…　＋

言語活動を適切に位置付ける指導の工夫

が大切

・音楽活動は

音や音楽によるコミュニケーション
が基盤
※言葉によるコミュニケーションとは異なる独自の特質

・音楽科の学習は

言葉によるコミュニケーションを
適切に位置付けることで

音や音楽によるコミュニケーションを
充実させることができる

音楽によって喚起された自己のイメージや感情，思いなどを他者と伝え合ったり，他者がどのようなことを意図しているのかをよく考えて，それに共感したりするためには，言葉によるコミュニケーションが必要となる。

生徒が音楽に関する言葉を用いて，音楽によって喚起されたイメージや感情，音楽表現に対する思いや意図などを相互に伝え合う活動を取り入れることによって，音によるコミュニケーションが一層充実することに結び付いていくように配慮することが大切である。

音楽に関する言葉
音楽を形づくっている要素
及びそれらに関わる用語や記号

〈表現活動の例〉

このフレーズの最後の音が印象に残るように表現するために rit.の仕方を工夫してはどうかな？

と伝え合うことを通して，

様々な rit.の仕方で歌い，他者とともに創意工夫して表現する喜びを味わうことができた。

〈鑑賞活動の例〉

弦楽器による旋律がゆっくりした速度で演奏され,春の日ざしの中で歌っているような穏やかな気持ちになったよ。

と感じ取ったことを言葉で説明し合うことを通して，

実際に弦楽器の旋律を聴き返し，様々な感じ取り方があることに気付くことができた。

【活動の際には】

言葉のやり取りに終始することなく，言葉で表したことと音や音楽との関わりが捉えられるようにすることが大切である。このような，音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けた指導は，生徒一人一人の音楽に対する価値意識を広げることにつながり，生徒の学習意欲の喚起や学習内容の定着にもつながるものである。

【研究にあたって】

確実な音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る授業づくりの実践のために・・・

・生徒や学校の実態に応じる
・これまで取り組んできた実践の上に立つ
・音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けて学習指導を工夫することが望まれる。

5　研究内容

令和５年度の副主題「音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図る学習指導の工夫」に迫るために各支部・各学校の実態に応じて研究を進める。その際，以下に示す６つの今日的課題についても可能な範囲で研究を進める。

(1)　主体的・創造的に音楽活動に取り組ませる指導方法
(2)　魅力ある適切な教材の精選と題材構成の工夫
(3)　生徒一人一人の学習の成立を促す整合性・一貫性のある評価
(4)　音楽活動の質的な高まりにつながる言語活動
(5)　我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい音楽の多様性を理解することができるような指導方法
(6)　音楽活動における効果的なＩＣＴ等の活用

6　研究の方法・留意点

(1)　副主題に迫ることができるように各支部の実態に応じた研究を進める。研究にあたっては，表現や鑑賞といった領域を設けない。
(2)　研究にあたっては，生徒の実態を捉えて具体的な仮説を設定することが望ましい。
　また，生徒の活動の様子や変容，研究の成果と課題がわかるようなまとめ方を工夫する。

7　県大会開催支部と発表支部

年度	開催支部	発表支部
5	いわき	安達　郡山

※　令和６年度から県大会の開催方法が変更になる予定

○令和５年度の音楽部会場
〈全体会・授業公開・研究協議〉
いわき市立泉中学校

8　参考資料

○「中学校学習指導要領(平成２９年３月告示)」　（文部科学省）

○「中学校学習指導要領（平成２９年告示）解説音楽編」（文部科学省）

令和４年度

県中教研音楽専門部組織

◆ 組織

役職名	支部名	氏　　名	勤務校
部　長	福　島	湯田　公夫	平 野 中
副部長	郡　山	佐久間一晃	守 山 中
	東西しらかわ	金川　　純	西郷二中
	耶　麻	佐久間　徹	会 北 中
	相　馬	松本　一宏	中村一中

◆ 支部音楽専門部長

支部名	氏　　名	勤務校
福　島	湯田　公夫	平 野 中
伊　達	八巻　和浩	伊 達 中
安　達	矢吹みのり	大 玉 中
郡　山	佐久間一晃	守 山 中
岩　瀬	邊見　　浩	小塩江中
石　川	上野　康生	古 殿 中
田　村	佐久間　誠	常 葉 中
東西しらかわ	金川　　純	西郷二中
北会津	植村　　信	一 箕 中
耶　麻	佐久間　徹	会 北 中
両　沼	小寺　真紀	昭 和 中
南会津	松田　吉弘	田 島 中
相　馬	松本　一宏	中村一中
双　葉	小野美佳子	広 野 中
いわき	渡邊　昌和	錦　　中

◆ 事務局

役職名	支部名	氏　　名	勤務校
総　務	福　島	本田　純也	福島三中
庶　務	福　島	鈴木　祥子	飯 野 中
研究推進	福　島	田口　紀子	北 信 中
		佐久間　信	蓬 莱 中
会　計	福　島	鈴木香世子	渡 利 中
学習帳編集	福　島	瀧　　薫	信 陵 中

以上の組織により，令和４年度運営をしてまいりました。ご協力ありがとうございました。

令和４年度

事　業　報　告

５月１９日（木）　総会（青少年会館）
支部専門部長会
（パルセいいざか）
５月　下旬　　主題研修報告会（各支部）
７月　下旬　　支部研究協議会（各支部）
９月　８日（木）　県音楽祭第１部〈合唱〉
（いわき芸術文化交流館アリオス）
１０月　６日（木）　県中教研会津大会
（会津若松市立第二中学校）
１０月１３日（木）　県音楽祭第２部〈合奏〉
（喜多方プラザ文化センター）
１１月　中旬　　県音楽祭第３部〈創作〉
２月　下旬　　県中教研音楽部会報発行

令和５年度

事　業　計　画

５月１１日（木）　総会，支部専門部長会
（福島市）
５月　下旬　　主題研修報告会　（各支部）
７月　下旬　　支部研究協議会　（各支部）
９月　８日（金）　県音楽祭第１部〈合唱〉
（須賀川市民文化センター）
１０月　５日（木）　県中教研いわき大会
（いわき市立泉中学校）
１０月１２日（木）　県音楽祭第２部〈合奏〉
（白河文化交流館コミネス）
１１月　中旬　　県音楽祭第３部〈創作〉
２月　下旬　　県中教研音楽部会報発行

事業計画につきましては，各部の日程調整が済み次第明らかになりますので，現段階では大体の目安としてください。